

被災地ないがしろ・強権とおごりの安倍政権は許せない!

参院選で審判を! 日本共産党の躍進へ!



毎月25日
月1回発行
定価 100円

発行所
新みやぎ社
日本共産党
宮城県委員会
機関紙発行所
仙台市青葉区一番町
一丁目12-25
電話(022)267-1511
http://www.jpj-miyagi.net/

日本共産党各地区委員会

仙山西地区委員会
(022) 225-2920

仙台東地区委員会
(022) 253-7471

塩釜地区委員会
(022) 364-3222

東部地区委員会
(0225) 22-6335

仙南地区委員会
(0223) 22-4036

北部地区委員会
(0229) 22-1252

紙参院議員 とふなやま 候補が訴え

宮城県委員会は3月17日、仙台市の一番町商店街で街頭宣伝を行い、紙参院議員、とふなやま補が訴えました。



3月17日街頭で訴える紙参院議員とふなやま参院候補

紙参院議員は、毎月勤労統計の偽装や武器爆買いと9条改憲、農業壊しの自民党農政などに触れ、参院選は政治を国民の手に取り戻すチャンスだと強調し、「市民と野党の共同に、ふれずに全力で取り組む共産党を伸ばしてください」と訴えました。

とふなやま候補は、震災から8年の被災地に消費税10%増税では復興できなくなると指摘。「社会保障を切り捨て、原発を推進し、憲法を変える安倍政権を終わらせましょう」と訴えました。



笑顔のふなやま由美候補



握手する紙智子参院議員

国会報告 紙 智子

与党議員からも大きな反響!!

国会では、国土交通副大臣の「村度」発言での辞任に続いて、桜田五輪相が「復興以上に大事なのが自民議員」と発言し辞任。安倍首相の任命責任が問われています。最新鋭の戦闘機F35A墜落問題も重大です。

10日は東日本大震災復興特別委員会が開かれ、資金、在宅被災者の問題です。

災害援護資金は、所得の低い被災者が生活を立て直すための資金です。

国会報告が、最大2035年まで返済を求めるとの答弁に、議場は「えーっ!」と驚きに包まれ、与党席からも「もっと前向きな答弁をしろ」とヤジが飛びました。

震災後、壊れた自宅を生活を余儀なくされた在宅被災者の問題では、総務省が「調査を行う」と答弁。「震災後全く動かなかった政府が動くようになった、いい質問だった」とこれまた与党議員から感想が寄せられました。



3月14日 モニター傍聴の市民でいっぱいになった県議会のロビー

条例案が提出された2月21日の本会議は、議史上最高の270名を超える市民が傍聴。3月14日には43年ぶりの連合審査会が開催され、翌15日の本会議とあわせて、連日傍聴席は満員、一階ロビーに設けられた臨時のモニター傍聴席もいっぱいになりました。

連合審査会では、「実現する会」の多々良哲代表が、「原発問題は人権問題。県民誰もが当事者となる重大問題について、県民の意思表示の機会を設けてほしい」と意見を述べた。

県民投票条例 自民・公明・21クが反対して否決

女川原発2号機の再稼働の是非を問う県民投票条例は、3月15日の宮城県議会本会議で賛成21票、反対35票(自民党、公明党、21世紀クラブ)で否決されました。

条例案が提出された2月21日の本会議は、議史上最高の270名を超える市民が傍聴。3月14日には43年ぶりの連合審査会が開催され、翌15日の本会議とあわせて、連日傍聴席は満員、一階ロビーに設けられた臨時のモニター傍聴席もいっぱいになりました。

連合審査会では、「実現する会」の多々良哲代表が、「原発問題は人権問題。県民誰もが当事者となる重大問題について、県民の意思表示の機会を設けてほしい」と意見を述べた。



3月30日大崎市 左からふなやま氏、大友氏、内藤県議

大崎市田尻で3月30日、市民と野党の共同を高めようと呼びかける市民のつどいが開かれ、季節外れの雪の中、20人の市民が参加しました。

主催した勝手連田尻の大友賢一代表は、「ふれることなく、野党が力を合わせて選挙戦をたたかいたい」と訴えました。

田尻の安住淳後援会長の遠藤日出男氏は、「国政でも県議選でも、野党共闘でがんばりましょう」とあいさつし、国民民主党の桜井充氏からの応援メッセージが紹介されました。

日本共産党の内藤隆司県議は、11万人を超える署名にこたえ、女川原発再稼働の県民投票条例制定に野党4会派が一致して論陣を張り、種子条例制定という成果を挙げるなど、県議会での野党共同の前進を強調しました。

ふなやま由美参院宮城選挙区候補は、辺野古の新基地建設、原発再稼働など住民置き去りの安倍政権を批判し、「正直に生きてきた人が大事にされる社会にしたい」と訴えました。

参加者からは、「ふなやまさんをぜひ統一候補にしたい」との声も上がり、大いに盛り上がりました。

大崎市田尻で共闘の集い

署名にこたえ、女川原発再稼働の県民投票条例制定に野党4会派が一致して論陣を張り、種子条例制定という成果を挙げるなど、県議会での野党共同の前進を強調しました。

ふなやま由美参院宮城選挙区候補は、辺野古の新基地建設、原発再稼働など住民置き去りの安倍政権を批判し、「正直に生きてきた人が大事にされる社会にしたい」と訴えました。

参加者からは、「ふなやまさんをぜひ統一候補にしたい」との声も上がり、大いに盛り上がりました。



6日 講演する萩野名誉教授

6日仙台市内で、「今、小林多喜二に学ぶ」ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために」と題する学習会が開かれ、111人が参加しました。主催した治安維持法国家賠償要求同盟宮城本部の横田有史会長が開会のあいさつ。小樽商科大の萩野富士夫名誉教授が講演し、若い頃の多喜二の様々なエピソードを紹介しながら、彼が絶望的な困難さの中で、運動が継承され拡大することを展望していたことなどを詳しく述べました。

今、小林多喜二に学ぶ



3月17日 国会報告する紙智子参院議員

ふなやま由美参院宮城選挙区候補と中嶋廉県議、ふるくぼ和子仙台市議が決意を語り、中嶋康博県委員長があいさつ。8後援会が「つどい」やニュース発行、楽しい企画、宣伝、要求実現などで会員や支持を広がっている活動を報告し、岡本宏輔事務局長が活動方針と新役員を提案。大きな拍手で確認しました。

宮城党後援会が総会
参院選・地方選勝利へ全力

宮城県日本共産党後援会の総会が3月17日開かれ、56の単位後援会から102人が参加し、夏の参院選と引き続く仙台市議選、各市町村議選、秋の県議選で必ず勝利を勝ち取ろうと奮闘を誓い合いました。

及川薫県後援会長は、参院選に続く選挙で勝利する体制を確立し、「みなさんと心ひとつに闘い」と訴えました。

紙智子参院議員が国会報告し、毎月勤労統計の偽装で景気判断の間違いは明らかだと、消費税増税の根拠が崩れたと強調。9条改憲や国保料、税の引き下げ提案、亡国の安倍農政を批判し、「政治を本気で変える日本共産党を大きくしてください」と訴えました。